



さいと

第118号

令和6年11月1日発行

市議会だより



令和6年度・西都市戦没者追悼式

10月5日(土)西都市民会館にて戦没者の御霊に対し、追悼の意を捧げるとともに恒久平和を祈念する式典が行われました。

●9月定例会の概要●

令和6年第6回定例会は9月9日に招集。9月30日までの会期で市長提出議案47件、報告案件6件について審議を行いました。令和5年度決算関係議案14件については継続審査とし、その他の市長提出議案については、採決の結果、いずれも原案可決(うち2件は承認、5件は適任)としました。

主な掲載内容

- ◎一般質問 … P2~5
- ◎議案審議結果 … P6
- ◎委員会審査概要等 … P7
- ◎議会用語ほか … P8

西都市議会
ホームページ

ホームページ
はこちらから↓



西都市議会

検索

マチイロ

ダウンロードは
はこちらから↓



さいと市議会だよりを
アプリで配信中!

持続可能な西都農業について

令和の会 太田 寛文



動画はこちらから↓



問① 国の食料・農業・農村基本法が改正されたが、どう捉えているのか、今後の市の施策について伺いたい。

答 世界的な人口増や気候変動・ウクライナ侵攻などを背景に食料の調達リスクが高まっており、これまで以上に国内生産基盤の維持強化を図る必要性を国が感じていると考える。今後の施策について、親元就農への支援、県内外からの新規就農者の参入促進、企業の農業参入を目指していく。魅力ある農業経営を行うためスマート農業を推進し、日本の食料生産基地としての役割を担っていく。

問② 地域を守り活性化するため多様な担い手である家族農業、定年就農者、兼業農家など意欲のある人への支援をどうするか。

答 農村環境を維持していくためには重要な要素である。今回の改正に伴い、多様な担い手による農地の確保が示されており、まずは、親元就

農の支援充実をはかっていく。

問③ 生産者が報われる安定価格への対応が望まれる。所得向上につなげられる対策を講じていただきたい。

答 現在、農業生産資材が高騰しており、農産物価格に十分転嫁されていない。農家の所得確保には、適正な価格形成が不可欠である。今回の法改正には、その一文が盛り込まれ、来年の法制化を目指しており、農家の所得確保のため、適正な価格形成について、国・県へ要望していきたい。

問④ 現在、畜産農家は、子牛価格低迷や飼料高騰で苦境にある。対応策について伺いたい。

答 現在、市としては対応できていない状況にある。今後の対策として、支援は必要であるが、市単独での予算確保することは困難であるため、国・県に対し支援要望していきたい。

問⑤ 受精卵移植について、畜産農家の経営安定を推進するため支援はできないか。

答 今後は、受精卵移植へ移行する農家の動向や要望を把握しながら、関係機関と協議をしていきたい。

熱中症対策・防災減災対策について

すみれの会 森 祐子



動画はこちらから↓



問① 熱中症対策について

イ 直近の市内搬送件数について。
答 令和3年20人、令和4年43人、令和5年30人、令和6年8月31日現在で44人。

ロ 通学時の日傘や冷却グッズの使用許可の案内状況については。
答 小中14校中、日傘8校、ネッククーラー4校が使用許可案内。

ハ 使用許可案内の周知徹底を。
答 児童生徒の安全確保の観点から校長会等でつないでいく。

二 各学校の冷水機の設置状況は。
答 2つの中学校に設置している。

ホ 公共施設の設置状況を精査し学校に冷水機を移す等できないか。
答 検証し、慎重に対応していく。

ヘ クーリングシエルトについて、スパーなど民間施設を協力施設として充足できないか。
答 協力を仰ぎ充足を図っていく。

ト 市庁舎トイレが西側にあり空調も無いので非常に暑い。暑さ対策はとれないのか。
答 室温が上がりにくい多目的トイレを案内したい。

チ 団体や企業と連携した熱中症対策の取り組みはできないか。
答 包括連携協定に盛り込まれている内容もあるので協議していく。

問② 防災減災対策について

イ 併任辞令という形で災害時対応課の職員を充足できないか。
答 現在のところ考えていない。

ロ 避難所のパーソナルスペース確保のための備品の内容や数は。
答 簡易テントやパーティションが合計600張ある。

ハ 台風避難時にパーソナルスペース確保と事前の訓練のため、これらテント等を使用できないか。
答 活用事例もある。今後、状況に応じて活用していきたい。

二 避難所に非常用電源の確保を。不足時は協定締結企業から借用を。
答 配備し、不足時は借用したい。

ホ ブルーシートやビニール袋などの備蓄品の今後の計画について。
答 今回の台風災害を踏まえ今後備蓄をすすめていく。

ヘ 市民会館は地震時に天井からの落下物の危険性があるため、避難場所として適切ではないのでは。
答 今後はホールは使用せずロビー等へ避難誘導したい。

答 今後はホールは使用せずロビー等へ避難誘導したい。

台風10号による竜巻被害と被災者支援対策

日本共産党 狩野 保夫



動画はこちらから↓



問① 台風10号による竜巻による突風被害に対する教訓と課題、被災者への支援対策は。

答 災害直後の被害調査を行う体制整備や竜巻被害に係る備蓄品確保の必要性を感じた。被災者支援は近く提案したい。

問② 台風10号でも堀之内や桜川樋門閉鎖による冠水被害が発生した。桜川樋門への排水ポンプの設置への取り組みの経緯は。

答 採択基準となる桜川下流域の受益面積の調査を4月に発注した。

問③ (前回の選挙で)「1期で退任する」との発言は有権者への公約ではなかったのか。

答 「1期で退任する」ことを公約として申し上げたわけではない。

問④ 選挙で公約した「医療センター再建」は実現したのか。

答 医療センター再建には、脳神経外科医師等をはじめとする常勤医師の確保が必要である。今後も公約実現に尽力したい。

問⑤ 市民や団体の声を無視して強

引に進められた「道の駅」整備計画には約1億4千万円の税金が投入された。10a当たり640万円で購入した土地は毎年多額の管理費が支出されている。市民に謝罪すべきではないか。

答 市民に謝罪することではなく、有効活用を実現させることが責務だと考えている。

問⑥ 医療センター濱砂前理事長が「提訴」された訴状の内容は「名誉棄損による損害賠償」等と「市広報紙への謝罪広告掲載」を求めるものである。なぜ争われるのか、市民に説明責任を果たすべきでは。

答 「名誉棄損には当たらない」と判断した。裁判において適宜・適切に対応したい。

問⑦ 観光振興の立場から、今年、稚児ヶ池で開花した「大賀ハス」の保全と活用を求めたい。

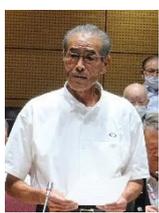
答 「大賀ハス」は古代のロマンを感じさせる花であり記紀の道の景観保全とともに地域づくり協議会を中心とした大賀ハスの保全活動を支援したい。

問⑧ 公民館(班や講中)が負担している防犯灯への補助を求めたい。

答 防犯灯の電気料補助については十分に議論されるべき課題であると考える。

西都児湯医療センター・西都市長選挙への出馬について

政友会 井上 久昭



動画はこちらから↓



問① 西都児湯医療センターに関する諸問題について

イ 現在の医療センターは老朽化も著しいと思うが、有事に災害拠点病院としてその機能を十分に果たすことが出来るのか伺う。

答 耐震工事等を行い地域災害拠点病院の指定要件は満たしている。

ロ 新病院建設には医師会の協力が不可欠。そして今は争うときではない力を合わせるべきだと考える。医師会との関係修復に継続して努めて欲しい。不安を抱える多くの市民のためにお願いしたい。

問② 市長のこれまでの取り組みと今後について

イ 平成17年初当選以来、連続3期12年西都市長を勤め上げられた行財政改革の実績について伺う。

答 成果の一例として、職員数が52名減、基金残高が約11億7千万円の増額、市債残高が51億8千万円の減額となっている。

ロ 自らも模範を示すべく、3期12年間給料の20%カットを実行されたがその総金額について伺う。

答 合計約4千216万円である。

ハ 市長の今期の主要施策と進捗状況について伺う。

答 最優先重要施策としている「西都児湯医療センターの再建」は、本年4月より常勤医師1人が着任、内科疾患における外来、入院患者の診療を開始。新病院建設に向けて、西都児湯医療センター施設整備基本計画の策定に着手した。また、ふるさと納税寄附金は昨年度、過去最高となる32億円を突破。さいと未来リーダー塾の開催、まちづくり西都KOKOKARAと連携した創業支援や事業承継、施設園芸ハウス団地の整備に取り組んだ。公約以外にも子育て支援対策として、第2子以降の保育料無償化や子どもインフルエンザ予防接種助成の拡充、県内では初となる自動運転EV(電気自動車)バスの実証運行を今年11月に予定している。

ニ 次期市長選挙への決意を伺う。

答 特に医療センターの再建については「道半ば」、「志半ば」という思いを強く持っている。市民の期待に応えることが私の使命と責任であると受け止め、熟慮に熟慮を重ねた上で、来年1月の西都市長選挙への出馬を決意したので、ここで表明させていただく。

政治姿勢・農業振興対策・医療対策について

創生会 米良 弘



動画はこちらから↓



強化対策について伺いたい。

答 意欲ある農家の育成、規模拡大を進めるため、地域計画に基づく農地の利用集積を進めるとともに、生産性向上・生産コスト低減・省力化等による魅力ある経営づくりのためスマート農業を推進する。また、環境に配慮した農業の推進も求められている。

問④ 10年後の肉用牛、施設園芸のあり方について伺いたい。

答 現在の産地規模を維持するため、規模拡大や事業承継、ハウスの集団化、スマート農業等を進める。生産過程の分業化、雇用労働力のシェア、集荷流通の効率化等を関係団体と連携して進める。

問⑤ 医療資源の確保、地域医療のあり方について伺いたい。

答 医師数や診療科目等不足している医療資源については自治体を越えた有病連携等が必要。地域医療におけるオンライン診療等については慎重に進める必要がある。

問⑥ 西都児湯医療センター新病院の診療科目等について伺いたい。

答 新病院の診療体制等は施設整備基本計画策定の中で具体化する。脳神経外科等の2次救急医療に関する施設整備は計画に含まれる。

新風会 村上 修 乗



動画はこちらから↓



西都市四大まつりについて

問① 3月下旬に開催された西都花まつり、7月中旬に開催された西都夏まつりであるが、コロナが収束したこともあり、今年は花まつり夏まつり共に盛況の開催であった。また各地域のまつりも盛況だった。11月には、残り2つのまつり、西都古墳まつりと都於郡城址まつりの開催が控えている。今年の花まつり、夏まつりの盛況状況を検討すると古墳まつり、城址まつりも盛況になる予想がされる。コロナの収束後のまつりで西都市が盛り上がりしている今だからこそ、今一度各まつり実行委員会や運営委員会と行政の連携を更に良くしていくべきではないかと考える。今後の西都市四大まつりをどの様に発展していくべきなのか、市長の見解を伺う。

行委員会のサポートを行うことで連携を図っているとされており、今後もしきめ細やかで積極的な支援を通じてまつりを盛り上げていきたいと考えている。今年8月に起きた日向灘地震、台風10号の突風被害など大変な状況であったが、こういう時だからこそ市民と行政が一致団結してまつりを盛り上げ、西都市をアピールしていく所存である。

問② 本市では様々なまつり、行事等がたくさんある。西都市四大まつりの定義を伺いたい。

答 複数の日数で開催され、市外からの誘客等により一定の経済効果が見込めるものとして特に4つのまつりを四大まつりと呼んでいる。経緯がある。

問③ 各地区によっては代表的なまつりがある。四大まつりと各種まつり行事の違いは何か伺いたい。

答 三財へそまつり、穂北夏まつりは地域づくり活動の一環として創設されたまつりであり、オータムフェスタについては観光協会主催として令和3年に創設されたイベントである。四大まつりは過去数十年以上続き伝統的なまつりであると認識している。

問① 西都児湯医療センターの現在の厳しい状況を招いた原因は、橋田市長が令和3年11月に地方独立行政法人法に違反して独断で行った濱砂重仁氏に対する理事長解任の行政処分にある。市長は宮崎地方裁判所の判決確定にも関わらず適正・適法の認識を示したが、今も変わらなにか伺いたい。

答 係争中につき答えられない。

問② 橋田市長は、今期の選挙公約が道半ばであるので令和7年1月の市長選挙に出馬するということであるが、退職された脳神経外科医に戻ってきてもらって西都児湯医療センターを再建するという最も重要な選挙公約の達成度について伺いたい。

答 西都児湯医療センターの再建については、常勤医師の確保や緊急性の高い脳疾患等2次救急医療の提供、経常収支の改善など多くの諸課題が残っており、公約の達成度はまだまだである。

問③ 厳しい農業経営環境の中で儲かる農業経営と力強い産地の維持

带状疱疹・本市の歯と口腔の健康づくりについて

公明党 浦田 明子



動画はこちらから↓



問① 带状疱疹ワクチン予防接種について、県・他市町村の動向や、先に助成した木城町における接種者数の変動等を確認しながら前向きに検討することのあったが、どの様に協議・調査されたか伺う。

答 助成について検討を進めてきたが、国が带状疱疹ワクチン予防接種を定期接種に含める方針を決めたとのこと。国の動向を注視しながら対応する。

問② 他市町村自治体の動向は調査されたか伺う。

答 児湯郡内の町村及び県内の市について、調査している。児湯郡内の都農町、西米良村が令和5年4月から新富町が10月、川南町が令和6年4月から助成を開始し、高鍋町は助成開始予定とのこと。県内の全市については、助成を行っていない。

問③ 带状疱疹ワクチン予防接種助成について、本市でも必要と思うが、市長の見解を伺う。

答 带状疱疹ワクチン予防接種により、带状疱疹やその後の神経痛などの

合併症による重症化予防の効果が期待できると認識しており助成について検討していたが、国の動向を注視し、他自治体の状況も踏まえ、定期接種化に向けての対応や定期接種対象外となる方への助成等について、検討していく。

問④ 本市の小中学校の歯と口腔の健康づくりの取り組みや指導状況について伺う。

答 西都市では、養護教諭部会を中心に児童生徒、保護者に対して学級活動や保健授業における歯科保健指導、委員会活動で歯磨き指導の啓発活動、歯の衛生指導を行っている。

問⑤ 小中学校の歯科検診後の歯科受診率及び実態・評価を伺う。

答 現在、歯科受診中の児童生徒も含めて処置完了率は34%と、決して高い数値ではないと認識している。ので、処置完了率を高める為に、各学校を通して保護者に歯科治療を勧めたい。

問⑥ 未処置児童生徒に再度治療勧告はどの様に行われているのか伺う。

答 保健だよりや学級通信で勧告を行ない、個別指導、学級懇談会で担任より保護者へ伝えていく。口腔崩壊の児童生徒には個別に歯磨き指導、歯の大切さや治療の必要性を指導していく。

自分が住みやすい・託したい地域づくりを目指して

結 吉岐 秀光



動画はこちらから↓



問① 将来の畜産を見据えた対応や支援策を伺う。

答 就農環境や飼養管理・排せつ物処理の分業化などの推進に取り組む。

問② 若年性認知症の支援と取り組みなどを伺う。

答 就労に関する相談などもあり、県の若年性認知症コーディネーターとの連携など状況に応じた支援を進めている。

問③ 本市で8年ぶりに開催される「全九州高校駅伝競走大会」への支援について伺う。

答 各種媒体を活用した大会の周知や応援、市職員は運営スタッフなど、また、市陸上競技協会・スポーツ推進委員の方々も従事するなど関係者を含め市民一体となり大会を支援し盛り上げる。

問④ 第7次行財政改革大綱の進捗状況と成果を伺う。

答 大綱を継続し、さらなる業務の合理化・効率化や複雑化・高度化する行政課題に対応する。

問⑤ 医療センターの自己資本比率

(会社などの安全性を示す経営指標の一つ)は何%か伺う。

答 本年3月31日現在の自己資本比率は「11.2%」。

問⑥ 市政報告会の意見交換会で寄せられた質問のうち、多い順5つを伺う。

答 (1)まちづくり(2)市道を含む道路関係(3)医療対策(4)防災対策(5)農業関係の順である。

問⑦ TNR活動に対する市の見解を伺う。

答 動物福祉の観点から重要な取り組みと認識。本市も保健所と協力し合い地域猫活動を推進していくと考えている。

(TNR活動とは?)

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を実施することで繁殖を防止し、「地域猫」や「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ、飼い主のいない猫に関する苦情や殺処分減少に寄与する活動です。

● Trap (トラップ) ↓ 捕獲すること

● Neuter (ニューター) ↓ 不妊手術のこと

● Return (リターン) ↓ 猫を元の場所に戻すこと

※公益財団法人どうぶつ基金の資料などを参照

■第6回定例会(9月9日~9月30日)で審議された議案等の審議結果

【市長提出議案】		審議結果	
番号	議案名		
第78号	専決処分の承認を求めることについて	承認	全会一致
第79号	専決処分の承認を求めることについて	承認	全会一致
第80号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	全会一致
第81号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	全会一致
第82号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	全会一致
第83号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	全会一致
第84号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	全会一致
第85号	西都市子ども・子育て応援基金条例の制定について	原案可決	全会一致
第86号	西都市子ども医療費の助成に関する条例の全部改正について	原案可決	全会一致
第87号	西都市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第88号	西都市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第89号	西都市営住宅の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	原案可決	全会一致
第90号	西都市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	賛成多数
第91号	西都市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例及び西都市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第92号	西都市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第93号	令和6年度西都市一般会計予算補正(第6号)について	原案可決	全会一致
第94号	令和6年度西都市一般会計予算補正(第8号)について	原案可決	全会一致
第95号	令和6年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第2号)について	原案可決	賛成多数
第96号	令和6年度西都市営住宅事業特別会計予算補正(第2号)について	原案可決	全会一致
第97号	令和6年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第2号)について	原案可決	賛成多数
第98号	令和6年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算補正(第1号)について	原案可決	全会一致
第99号	令和6年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第100号	令和6年度西都児湯いじめ問題対策専門家委員会特別会計予算補正(第1号)について	原案可決	全会一致
第101号	令和6年度西都児湯いじめ問題調査委員会特別会計予算補正(第1号)について	原案可決	全会一致
第102号	令和6年度西都児湯公平委員会特別会計予算補正(第1号)について	原案可決	全会一致
第103号	令和6年度西都市水道事業会計予算補正(第1号)について	原案可決	全会一致
第104号	令和6年度西都市簡易水道事業会計予算補正(第1号)について	原案可決	全会一致
第105号	令和6年度西都市公共下水道事業会計予算補正(第1号)について	原案可決	全会一致
第106号	令和6年度西都市農業集落排水事業会計予算補正(第1号)について	原案可決	全会一致
第107号	市道路線の認定について	原案可決	全会一致
第108号	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ-A型)売買契約の締結について	原案可決	全会一致
第109号	令和6年度西都市一般会計予算補正(第7号)について	原案可決	全会一致
第110号	令和6年度西都市一般会計予算補正(第9号)について	原案可決	全会一致

賛否の分かれた議案等の表決一覧

番号	件名	議員名 (左から議席番号順)												審議結果			
		荒川敏満	森 祐子	志岐秀光	浦田明子	村上修乗	米良 弥	岩切一夫	太田寛文	田爪淑子	黒木吉彦	中武邦美	井上 司		井上久昭	狩野保夫	橋口登志郎
第90号	西都市国民健康保険条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
第95号	令和6年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第2号)について	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第97号	令和6年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第2号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

○：賛成 ●：反対
※議長のため表決に参加しない

9月定例会 各委員会審査報告

委員長報告全文はホームページでご覧ください。

総務委員会審査概要

◎付託案件数 8件

◎議案審議結果
全ての議案について、全会一致をもって原案可決。

◎審査の過程で出た意見・要望等
災害対策費の測量業務委託料について、黒生野集落の災害時の避難場所への通路整備の委託料であり、最近、災害が頻発しているため、いち早く手を付けていただくというのは地域住民にとっては非常に喜ばしい。

あいそめ館の今後の運用については、しっかりと利用者に添った運用計画を策定して欲しい。

住宅の土砂災害負担軽減のための宅地等災害復旧費補助金について、今回の台風10号による被災のなかで、西都市宅地等災害復旧費補助金交付要綱に基づきこの補助金を精査してみると、土砂等除去にかかった費用から10万円が控除され、補助金に限度額もあることから、最終的な補助額はかかった費用に対し

て一割にも満たないといったこともある。そこで、もう少し被災された方々の負担緩和になるように補助制度の改善をお願いしたい。

文教厚生委員会審査概要

◎付託案件審査件数 13件

◎議案審議結果
議案第79号、85号、86号、94号については、賛成討論がなされ、全会一致をもって原案可決。
議案第90号、95号、97号については、反対討論がなされ、採決の結果、賛成多数をもって原案可決。
その他の議案については、全会一致をもって原案可決。

◎審査の過程で出た意見・要望等
高校生までの医療費無償化制度は、本市では初めてのことであり、関係医療機関等との連携を図り、医療費無償化制度が進められることを強く要望したい。

令和6年度においても医療センターへの「共同利用型補助金」の交付が出来ない状態にあることは大きな問題である。医師会との関係改善を図り、正常な運営が図られるよう強く求めておきたい。

児童公園に設置してある遊具が点検の結果、危険遊具であることから撤去するための予算が提案され

産業建設委員会審査概要

◎付託議案件数 10件

◎議案審議結果
全ての議案について、全会一致をもって原案可決。

◎審査の過程で出た意見・要望等
西都原ガイダンスセンターこれはな館の改修工事進捗状況を聞くこと順調に進んでいるようである。西都市の観光の拠点となる場所でもあるため、指定管理者についても西都市の発展に寄与し運営管理がしっかりとできることを見据えて進めていただきたい。

木造住宅耐震診断士派遣業務委託料が計上されているが、近年全国各地で地震が多く発生しており、今後、南海トラフでも大地震の発生が予想されることから、事前対策として家屋の耐震対策は重要と考える。診断料は無料でいい、耐震工事について支援もしていることから、今後多くの家屋が耐震対策をしていただくよう、さらなる推進をお願いしたい。

国道219号整備促進 (産業建設委員会)

産業建設委員会では、西都市、西米良村、湯前町(熊本県)で構成する三市町村議会国道整備促進合同協議会の活動として、7月15日、16日に宮崎・熊本両県要望、8月5日、6日に九州地方整備局、国土交通省へ要望活動を行いました。

要望内容…一般国道219号の早期整備促進のための予算確保

国道219号は熊本市から宮崎市を結ぶ生活道路としてはもとより、緊急医療や経済活動を支える重要な路線であります。西都市、西米良村区間においては未整備箇所が未だ多く残されております。

これからも要望活動を展開し、早期整備の実現に向けて取り組んで参ります。



知事要望



国土交通省道路局長要望

台風後の議会対応

今期定例会は当初、9月2日から10月2日までの31日間の会期で審議が行われる予定でした。しかしながら、8月28日、29日に襲来した台風10号により、西都市は甚大な被害を受けました。市民は災害復旧作業に追われ、市当局も災害復旧対応に尽力している状況のため、開会を一週間遅らせ会期を9月9日から9月30日までの22日間に変更しました。

また、令和5年度決算関係の議案14件については、継続審査としました。



議会Q&A

【Q】一般質問の概要について教えてください。

全ての議員に付与されている質問権は、議員の重要な役割の一つにも挙げられ、中でも本会議における一般質問は、執行機関から提出された議案などに関係なく、議員個人が市政全般に係る様々なテーマについて、市長の考えや執行の状況や方針、事業の詳細や効果に評価、また、議員個人が日常の議員活動の中で市民みなさまの意見をお聞きし、それらを執行機関に問い質し、市民生活に関する多岐にわたる課題を確認する場でもあります。

そして市側は、議員の質問に答えることで、間接的に市民のみなさまに市政運営に関する現状と課題や今後の取り組みなどをお知らせすることにまいります。

一般質問を予定する議員は、原則として定例会(3・6・9・12月)開会日の午後5時までに議長へ質問要旨を通告し、通告文書は執行機関に事前に配布しています。

なお、発言時間のルールもあり、西都市議会では、執行機関側の答弁時間を除いて、議員一人の発言時間の合計は40分以内と決められています。

編集後記

令和6年8月は日向灘地震に台風10号と自然災害の夏でありました。今年の干支は辰年となりますが、辰年の1年は本来、発芽した植物がしっかりとした形になる、勢いと大きな力、成功ととらえることができる。また新しいことを始めて成功する、いままで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になると言われています。

11月には西都古墳まつり、都於郡城址まつりのほか、地域に密着したまつりが開催されます。

まつりには無病息災をお祈りする謂れもありますので是非まつりに足を運んでみては如何でしょうか。

今年も残すところ、後2カ月であります。今年が良き一年でありますよう、安全安心を心よりお祈り申し上げます。

(村上修乗)

議会報編集委員会

- 委員長 岩切 一夫
- 副委員長 志岐 秀光
- 委員 森 祐子
- 浦田 明子
- 村上 修乗
- 太田 寛文